

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座Ⅱ Care Staff Beginner's Training lecture II			ナンバリング No.	I3-010		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>介護職員初任者研修課程における「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」「介護におけるコミュニケーション技術」「老化の理解」について学習する。</p> <p>①介護保険制度や障害者総合支援制度の概要について学ぶ。</p> <p>②高齢者や障害者の個々のコミュニケーション能力を把握する方法および基本的なコミュニケーション上の留意点を説明できるようにする。</p> <p>③加齢や老化に伴う心身の変化、高齢者に多い病気と日常生活での留意点について学習する。</p> <p>④介護福祉士が行う医行為を列挙できるようにする。</p> <p>⑤記録の機能と重要性及び留意点を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義中心に行うが、ロールプレイやグループワークを行い、基礎的能力を習得できるようにする。また、高齢者疑似体験演習を通し、高齢者の心身の状態に関する理解を深める。						
学習成果	L01	福祉専門職としての基本を身につける。コミュニケーション演習、高齢者疑似体験を通し、加齢・老化に伴う心身の変化を理解する。					
	L02	介護保険制度の基本的なしくみを理解し、課題に取り組むことができる。在宅及び施設における介護職と専門職の役割と連携について説明できる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:介護職員初任者研修テキスト1巻 中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。介護職員初任者研修ユニット選択者以外は履修不可。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、コミュニケーション演習や高齢者疑似体験に積極的に参加し、学びを共有すること。	30			
レポート/作品	「高齢者疑似体験」での振り返りレポート。S 評価のレポートは学びが具体的であり、高齢者支援の留意点が記述されていること。	10			
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。		60		
その他					
合計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携① 介護保険制度創設の背景と目的、動向、基本的なしくみ
	事前・事後学習	事前:テキスト P136～150 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの介護保険制度の目的についてまとめる。
2	授業内容	介護・福祉サービスの理解と医療との連携② 給付の種類、認定の手順、制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
	事前・事後学習	事前:テキスト P151～165 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの介護保険制度申請の手順について確認する。
3	授業内容	介護・福祉サービスの理解と医療との連携③ 給付の種類、認定の手順、制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
	事前・事後学習	事前:テキスト P151～165 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの介護保険制度の組織・団体に関する課題に取り組む。
4	授業内容	介護・福祉サービスの理解と医療との連携④ 訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーションの理念、 医行為と介護
	事前・事後学習	事前:テキスト P166～181 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの介護職と医療職の役割についてわかったことをまとめる。
5	授業内容	介護・福祉サービスの理解と医療との連携⑤ 障害の概念、自立支援制度
	事前・事後学習	事前:テキスト P182～184 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの障害の概念についてのまとめに補足記入する。
6	授業内容	介護・福祉サービスの理解と医療との連携⑥ 障害者総合支援制度 「障害者福祉制度の理念」
	事前・事後学習	事前:テキスト P185～186 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:障害者福祉制度の歴史について配布プリントを記入する。
7	授業内容	介護・福祉サービスの理解と医療との連携⑦ 障害者総合支援制度 「障害者総合支援制度のしくみ」
	事前・事後学習	事前:テキスト P187～197 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの申請手続きについてまとめる。
8	授業内容	個人の権利を守る制度の概要
	事前・事後学習	事前:テキスト P198～208 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:成年後見制度に関する問題を解く。
9	授業内容	老化の理解① 高齢者疑似体験
	事前・事後学習	事前:高齢期の身体的変化をおさらいしておく 事後:高齢者疑似体験のレポート作成
10	授業内容	老化の理解② 老化に伴う変化の特徴 前回のレポート提出
	事前・事後学習	事前:テキスト P268～294 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:配布プリントの補足を記入する。
11	授業内容	老化の理解③ 高齢者の病気の特徴、高齢者に多い病気と日常生活上の留意点
	事前・事後学習	事前:テキスト P295～321 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:高齢者の病気について配布プリントをまとめる。
12	授業内容	介護におけるコミュニケーション技術① 介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割、コミュニケーションの技法
	事前・事後学習	事前:テキスト P218～221 を通読し分からない言葉は調べる。

		事後:演習の感想と気づきについて振り返りレポートする。
13	<b>授業内容</b>	介護におけるコミュニケーション技術② 利用者・家族とのコミュニケーション実際
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト P224～235 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:演習の感想と気づきについて振り返りレポートする。
14	<b>授業内容</b>	介護におけるコミュニケーション技術③ 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト P236～247 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:演習の感想と気づきについて振り返りレポートする。
15	<b>授業内容</b>	介護におけるコミュニケーション技術④ 記録における情報の共有化、報告、コミュニケーションを促す環境、まとめ
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト P248～263 を通読し分からない言葉は調べる。 事後:演習の感想と気づきについて振り返りレポートする。